

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351010 維持管理課道水路管理係  
事務事業 02762 道水路管理事務

所属長名 竹内 剛  
担当者 岡田 俊信  
電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	005	道水路管理事務		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	道路法、安城市法定外公共物の管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・道路管理事務 ・不法占用処理事務 ・水路管理事務 ・道路台帳管理事務			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	道水路、橋りょう等の占用及び承認工事の許認可に関する事、道水路の用地に関する事、屋外広告物に関する事、狭あい道路拡幅事業に関する事、道路台帳管理等の事務処理を行います。

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	100,724	103,036
事業費	0	44,024	46,336
国庫支出金	0	2,347	4,500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	46	24
一般財源	0	41,631	41,812
人件費計	0	56,700	56,700
正規（人）	0.00	9.00	9.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、市有地払い下げ、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務	道水路の占用、承認工事の許認可事務 道水路境界立会い、市有地払い下げ、占用料徴収、狭あい道路拡幅、道路台帳の整備等の事務 屋外広告物に関する事務

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351010 維持管理課道水路管理係  
事務事業 02762 道水路管理事務

上段：目標値 下段：実績値

## 【定量評価】

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	道水路の管理者として必要な事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	道水路の管理者として必要な事務で、多くのニーズがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	道路等占用許可申請が電子申請できるよう改善しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	道水路の管理者として必須な事務です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本事業は、道路管理者として行うべき必要な事業です。平成29年度に実施した道路占用許可の電子申請化などによる事務の効率化を進めるとともに、今後も適正な事務処理を行っていく必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02763 放置自転車対策事業

所属長名 竹内 剛  
担当者 吉田 浩隆  
電話番号 0566-71-2237

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	003	自然と共生する良好な生活環境の確保		
事務事業	006	放置自転車対策事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市自転車等の放置防止に関する条例			
備考				

## 【事業分析】

対象	駅前広場、道路等を通行する人が
目的	安全で良好な通行機能を確保できるようになる
手段	自転車等の放置禁止区域において、公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持します。
事務内容	放置自転車撤去・告示・処分、放置自転車台帳作成、放置自転車防犯登録照会、引取通知書発送、リサイクル自転車業務、放置自転車実態調査、放置自転車クリーンキャンペーン、施設修繕

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	33,509	20,961
事業費	0	25,319	12,771
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	49	50
一般財源	0	25,270	12,721
人件費計	0	8,190	8,190
正規（人）	0.00	1.30	1.30
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（9箇所）	放置自転車指導員の配置（4人） 無料自転車駐輪場の管理（9箇所）

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02763 放置自転車対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
通行機能阻害による苦情件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
放置自転車移動台数	台	0.00	200.00	200.00
		0.00	163.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が条例に基づき実施しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	放置自転車の移動台数が継続して一定量あります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	放置自転車の台数が減少しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	放置自転車台数の減少により、整理指導員の数を見直しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市も、放置禁止区域を条例で定めています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	自転車等放置禁止区域内において、公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、通行機能を確保し、市民生活の安全を図るとともに良好な都市環境を保持することができました。また、少数の放置自転車が多くの放置自転車を誘発し、現状へ復旧させるのに多くの労力、経費、期間を要することから、引き続き事業を継続する必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02764 駅施設管理事業

所属長名 竹内 剛  
担当者 吉田 浩隆  
電話番号 0566-71-2237

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	001	10都市基盤（市街地）その他			
事務事業	002	駅施設管理事業			
事業期間	平成1年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	駅施設及び駅前広場の利用者が
目的	安心・快適に利用できるようになる
手段	鉄道利用する通勤者等を始め、駅施設及び駅前広場の通行者が、安心・快適に利用できるよう施設設備等を維持管理します。
事務内容	安城駅前デッキ等の駅関連施設の保守管理清掃、タクシープールの水道料金の請求、安城駅前デッキ及び三河安城連絡通路の利用許可、施設修繕

【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	73,769	85,057
事業費	0	66,209	77,497
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	308	20
一般財源	0	65,901	77,477
人件費計	0	7,560	7,560
正規（人）	0.00	1.20	1.20
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		安城駅前デッキ、三河安城連絡通路等の管理 清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理 三河安城駅橋上デッキ 点検業務委託	安城駅前デッキ、三河安城連絡通路等の管理 清掃 駅前トイレの清掃 駅前広場樹木草花の管理

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02764 駅施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
駅関連施設の管理瑕疵による事故件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
駅関連施設での事故、負傷件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市の所有する施設のため、管理を行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの駅利用者及び駅前広場通行者が、利用する施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標どおりの進捗でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	施設の修繕は、汎用性のある材料を利用し、費用削減に努めます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	駅前の施設を保全するため、適正です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	JR2駅、名鉄6駅の広場や通路の清掃並びに植栽、エレベーター、便所などの維持管理を行い、鉄道を利用する通勤者等をはじめ、駅施設及び駅前広場の利用者が、安心して快適に通行・利用できるよう、引き続き施設設備等の維持管理を、継続する必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
平成30年 8月17日  
10時50分50秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業

所属長名 竹内 剛  
担当者 吉田 浩隆  
電話番号 0566-71-2237

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	001	3環境		
施策の方針	002	低炭素社会の実現		
事務事業	003	自動車・自転車有料駐車場事業		
事業期間	昭和48年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市有料駐車場の設置及び管理に関する条例			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・自動車駐車場運営事業 ・自転車駐車場運営事業			

## 【事業分析】

対象	鉄道利用の通勤通学等の駐車場利用者が
目的	便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようになる
手段	環境にやさしいパークアンドライド、サイクルアンドライドとして、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐車場・駐輪場の利用を推進するため、自動車・自転車駐車場の管理運営を行います。
事務内容	月報報告、収入管理、指定管理者連絡調整会議、年度協定締結、事業計画書作成、決算事務、公営企業決算状況調査、施設修繕

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	155,250	152,032
事業費	0	147,060	143,842
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	147,060	143,842
人件費計	0	8,190	8,190
正規（人）	0.00	1.30	1.30
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		収容台数 1,222台 指定管理委託 駐車料金改定 安城駅西駐車場東棟精算機、事前精算機、発券機、満空表示灯、磁気書込機更新ほか。	収容台数 1,221台 指定管理委託 安城駅前第一、第二、北口広場駐車場精算機、三河安城駅北駐車場精算機、フラップ板更新ほか。

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02765 自動車・自転車有料駐車場事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
有料駐車場の管理瑕疵による事故件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	1.00	0.00
有料駐車場利用率	%	0.00	90.00	90.00
		0.00	102.41	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	駅周辺の駐車場需要を満たすため、市で補完する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	利用台数が前年と比べ伸びています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	駐車場利用率は、目標を上回りました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	指定管理者制度を導入済です。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市と比較し料金設定は、適正な水準です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>鉄道利用の通勤通学等の利用者が、便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようにするため、環境にやさしいパークアンドライド、サイクルアンドライドを推進し、通勤者等の駅周辺を中心とした市営駐車場・駐輪場の利用を促進するため、自動車・自転車駐車場の管理運営を行う必要があります。</p> <p>また、利用者の利便性の向上を図るため、平成29年6月に料金体系の見直しを実施しましたが、駐車台数及び駐車料金とも前年と比べ増となっており、今回の料金体系の見直しが、利用者ニーズに合ったものであったと考えます。今後とも利用者が、便利で安心して自動車・自転車駐車場を利用できるようにするため、適切な駐車場の管理運営を行っていくことが必要です。</p>

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
平成30年 8月17日  
10時50分50秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務

所属長名 竹内 剛  
担当者 吉田 浩隆  
電話番号 0566-71-2237

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	002	環境			
項目（施策）	001	3環境			
施策の方針	002	低炭素社会の実現			
事務事業	004	有料駐車場事業消費税事務			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	直営				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	消費税法				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	<p>有料駐車場の使用料収入に関して、消費税法に基づき申告・納付を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>課税売上と課税支出の見込みの検討</li> <li>消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告</li> </ul>

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	9,280	37,185
事業費	0	8,650	36,555
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	8,650	36,555
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		<p>確定申告 中間申告</p>	<p>確定申告 中間申告</p>

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02766 有料駐車場事業消費税事務

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	消費税法に基づき申告・納付を行います。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市の財源として必要です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	消費税法に基づき適切に申告・納付を行います。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	有料駐車場事業の消費税及び地方消費税の確定申告、中間申告に関する事務であり、適切に事務を行う必要があります。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

9頁  
平成30年 8月17日  
10時50分51秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02767 有料駐車場事業償還事務（元金・利子）

所属長名 竹内 剛  
担当者 吉田 浩隆  
電話番号 0566-71-2237

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	001 3環境				
施策の方針	002 低炭素社会の実現				
事務事業	005 有料駐車場事業償還事務（元金・利子）				
事業期間	昭和48年度～平成36年度	52年間			
実施方法	直営				
会計区分	有料駐車場特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	有料駐車場事業債の元金・利子償還事務

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	決算額	決算額	予算額
トータルコスト	0	23,232	23,233
事業費	0	22,602	22,603
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	22,602	22,603
人件費計	0	630	630
正規（人）	0.00	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	【事務事業活動実績】		有料駐車場事業債の元金・利子償還事務

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351020 維持管理課施設管理係  
事務事業 02767 有料駐車場事業償還事務 (元金・利子)

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度

カテゴリ		評価の観点	基準	ランク
1	必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
			2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
			3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由		有料駐車場事業で財源確保が必要です。		
2	必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
			2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
			3 市民ニーズはない又は不明である	
理由		施設の利便性と安全性を確保するため、必要です。		
3	有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
			2 目標を下回る進捗状況である	
			3 進捗はかなり遅れている	
理由				
4	効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
			2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
			3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由		適切に事務を行います。		
5	公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
			2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
			3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由		適切に事務を行います。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	本事業は、過年度に実施した駐車場施設改修工事の、事業債の償還金及び利子を償還する事業であり、適切な事務を行っていきます。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
平成30年 8月17日  
10時50分58秒

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351030 維持管理課維持係  
事務事業 02768 道路施設管理事業

所属長名 竹内 剛  
担当者 杉浦 良二  
電話番号 0566-71-2237

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	003	5生活安全		
施策の方針	003	交通安全対策の実施		
事務事業	002	道路施設管理事業		
事業期間	平成1年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・道路施設維持管理事業 ・交通安全施設整備事業 ・道路維持修繕直接施工事業			

## 【事業分析】

対象	道路施設を通行する市民が
目的	道路施設の維持管理を行うことにより安全で安心して通行できるようになる
手段	道路施設の維持管理を工事発注及び現業職員による直接作業にて修繕を行います。
事務内容	道路施設の維持修繕工事の設計及び施工管理を行い、現業職員による定期的な道路パトロール及び直接作業により適切な道路管理を行います。

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成28年度 決算額	平成29年度 決算額	平成30年度 予算額
トータルコスト	0	658,926	639,495
事業費	0	577,026	563,895
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	6,301	0
一般財源	0	570,725	563,895
人件費計	0	81,900	75,600
正規（人）	0.00	13.00	12.00
その他経費	0	0	0

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
【事務事業活動実績】		（舗装工）A=32,346㎡ （防護柵）L=227m （道路反射鏡）N=55基 （街路灯）N=3基 （区画線）L=32,000m	（舗装工）A=32,500㎡ （防護柵）L=230m （道路反射鏡）N=55基 （街路灯）N=3基 （区画線）L=32,000m

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成29年度 進捗区分 2次評価  
所属 0001351030 維持管理課維持係  
事務事業 02768 道路施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度
道路瑕疵事故の件数	件	0.00 0.00	0.00 2.00	0.00 0.00
道路施設に対する苦情・情報提供・要望に対する達成割合	%	0.00 0.00	100.00 96.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	道路施設には管理区分があり市道部の保守管理を行っています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	本事業は市民生活に直結しておりニーズは充分にあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	道路施設維持管理費に限りがあり全ての要望に応えられていません		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	複数箇所の工事発注をまとめる事により経費を抑えています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	限られた事業費の中で、計画を立て効率的に整備を進めています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	通行者の安全を図るため、市内の道路施設の整備及び補修を進めているところであり限られた事業費を効率的に活用し、緊急性の高いものについては現業班で対応し、大規模なものについては整備計画に基づき事業を進めていきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。